

大学の仲間たち



和名 イノシシ
学名 *Sus scrofa*
英名 a wild boar
綱 哺乳綱真獣亜綱
目 偶蹄目
科 イノシシ科
体長 1.4m
体重 75～190kg

イノシシ

草むらを歩き回り、その根元から餌になる昆虫類を探しているイノシシの幼獣をじっと見つめるシカ。このようなツーショットの写真が大学構内で撮れるのは日本で唯一、本学だけであろう。

五月の中旬にウリ坊を構内で見かけるようになった。耳にケガをしており化膿しているという。捕獲して、耳の治療でもせねばと思い、じっと観察した。すると、せっせと落ち葉や草をかき分け、何かを見つけ出しては食べている。餌は充分取れているようであった。しばらくは大丈夫だと判断し、そのまま様子をみることにした。

夏を越え、秋になり、附属小学校の菜園が荒らされ、サツマイモが食べられたという。退治して欲しいという声も聞いた。その頃になると、このイノシシの仔に餌を与える人が現れ、手元のすぐそばに近寄ってくるようにもなり、ついに、餌を与えようとしてかまれた学生まで現れた。知らぬ間に自然環境教育の生きた教材となっていた。

しかし相手は野生動物である。ネコを含め野生動物にむやみに餌を与えない。与えるからには、最後まで面倒をみる決心をする必要がある。このようなキャンペーンをしなければと思っている十一月中旬に構内から姿を消した。いい餌場が見つかってそちらを主な活動場所にしたのであろうと想像しよう。

(自然環境教育センター長 前田喜四雄)

■ 編集後記 ■

ならやま二〇三春号をお届けします。

表紙写真は、大学構内にある古墳の発掘調査の様子です。構内に古墳がある大学はそう多くはないでしょう。今後、調査の結果を「ならやま」でも取り上げる予定です。巻頭特集では、「ならやまトーク」として、(財)日本ユニセフ協会奈良県支部専務理事の山藤エリザベスさんをお招きして学長との対談を企画しました。教育と人材養成に大きく関わる本学にとって新しい視点も加わることになるでしょう。

国立大学の法人化など、大学は今大きく変わろうとしています。地域とともに活力を生み出す大学をめざして、次号からは法人化後の大学のあり方についても地域の方々にお伝えしてまいります。これからもよろしくお願いたします。(柳澤)

「ならやま」の編集作業では、奈良教育大学の魅力をお伝えしようと試行錯誤を繰り返しています。その試行錯誤の結果が、お届けしている「ならやま」なのですが、果たして本学の魅力はお伝えできているのか、またその他のみなさんからのご意見やご感想についてとても気になっていました。

今号の「ならやま」にはアンケートはがきをご用意しています。ぜひ、アンケートにお答えの上、本学へお送り下さい。おはがきお待ちしております！(松浦)

● ならやまWeb版
<http://www.nara-edu.ac.jp/PUBLIC/NARAYAMA/index.htm>



奈良教育大学 広報誌

第16号 平成15年4月1日 編集/広報室 発行/奈良教育大学
〒630-8528 奈良市高畑町 ☎0742-27-9296 ☎0742-27-9141
<http://www.nara-edu.ac.jp/home-jp.htm>